

令和6年1月23日

中学生“みらい”会議報告会を開催＝2月6日  
～未来の私たちに今のあやべを伝えます～

市は2月6日、市内の中学2年生（243人）を対象に、中学生“みらい”会議報告会を開催する。中学生が地域について考え、将来一時的に綾部を離れてもまた戻ってきたいと思える郷土愛を育むことを目的に行った学習の報告を行うもので、当日は、市役所と市内6中学校をオンラインでつなぎ、学校ごとに教室などで発表する。

また、6月20日のキックオフから今回の発表に関する一連の取り組みの様子を動画にまとめ、子どもたちが二十歳になったときに開催する「二十歳の集い」で放映する予定にしている。

記

○第2回 中学校の授業で行った取り組みの報告会

日 時 2月6日（火）午前8時50分～10時40分

場 所 まちづくりセンター第1会議室

対 象 市立中学校 2年生 （6校、243人）

ファシリテーター 福知山公立大学地域経営学部 杉岡秀紀准教授

内 容 各校から取組内容を発表（1校あたり約10分）  
各中学校の取り組み内容は、別紙のとおり

- ・将来のUターンや関係人口の増加につながる事業として期待している。
- ・中学生みらい会議は本市独自の事業として昨年度から実施するもの。
- ・このほか、Uターンの促進に向けた事業として、2月24日（土）に30歳、40歳を対象とした「あやべ3040成人式」を開催する。（会場：あやテラス・ホール）

（参考）

第1回 キックオフ

令和5年6月20日（火）午前10時～11時

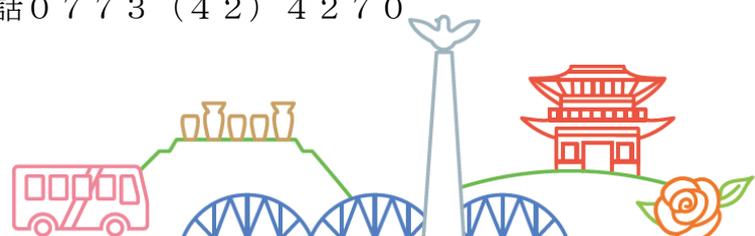
Uターン者が綾部の魅力について講演

【講演者】 seventh Home 石崎葉子さん

元・エフエムあやべ 秦 雪恵さん

<問い合わせ>

定住・地域政策課 課長 潮見雅敏 電話0773（42）4270



(別紙)

中学校の取組内容

| 学校名   | 取組内容  |
|-------|---|
| 上林中学校 | ○ふるさと学習<br>・上林地域の歴史の調査（現地調査は京都府立大学の君尾山の調査に同行）   |
| 東綾中学校 | ○よりよい綾部市にするために<br>・校外学習を通して見つけた、綾部市にはない他市の良さについて発表する。<br>・職場体験学習を通して「ふるさと綾部のよさや伝統を継承していくための考え方や資質能力」について発表する。   |
| 何北中学校 | ○10年後の時代に合った「ここちよい」インナーウェアを創造する<br>・地元企業である「グンゼ株式会社」から出題される「正解のない問い」を解決しようとする、課題解決型の学習に取り組むことによって、自らの学びが社会に貢献する過程を体感するとともに、認知能力と非認知能力を一体的に育む。   |
| 豊里中学校 | ・職場体験学習を通じて、感じたことや考えたこと。また、地域について発表を行う。   |
| 綾部中学校 | ○未来と今をつなぐキャリア教育<br>・キャリア教育（職業講和や職場体験）を通して、「なぜ働くのか」について考え、自分の生き方について深めたことを発表する。  |
| 八田中学校 | ○八田ブロック（八田 PIECE）でつなぐ ONE PIECE)<br>・総合的な学習の時間を活用し「ふれあいメール」「希望プロジェクト」「アンネのバラ」の取り組みを3年間系統的に学習することで、自分の育ってきた地域、社会を見つめ、自己のあり方を考えさせる。希望プロジェクトは、八田ブロック一貫教育の取り組みであり、フジバカマの栽培とアサギマダラの飛来観察、匂い袋作成を幼少中が連携を為して行っている。 |